

社団法人日本溶接協会神奈川県支部 創立50周年記念式典・講演会



(社)日本溶接協会神奈川県支部創立50周年

(社)日本溶接協会神奈川県支部は昭和32年3月9日に設立総会を開催して以来50年がたちました。それに伴い平成19年9月15日(土)横浜市中区みなとみらい、パシフィック横浜に於いて記念式典・講演会・祝賀会を開催しました。270名の参加を得て大変盛大なそして華やかな会となりました。

神奈川県支部設立50周年を迎えて

(社)日本溶接協会神奈川県支部支部長 村上 秀夫

神奈川県支部は1957(昭和32)年設立以来、今年で50周年の節目を迎えることができました。この間の皆様方のご支援に深く感謝申し上げます。

50年前の日本は、造船業が世界一の規模となり“もはや戦後ではない”と言われた時期であり、その後の日本経済は工業を中心に目覚ましい発展を遂げてまいりました。

この間、溶接技術は各種材料の接合技術の開発、高能率化、品質管理技術の向上などを進め、工業の発展に欠かすことのできない加工技術として貢献してきました。

当支部も設立時の会員数が74から442へ、評価試験受験者数もピーク時は7500人に達し、現在は5000人を超えるレベルで推移しており、全国でも上位に位置しています。また、全国溶接技術競技会においては、過去8人の優勝者を輩出しており、溶接技術・技能の向上に大いに貢献してまいりました。これは、支部の活動に情熱を注いでいただいた関係者の努力のたまものであり、改めて敬意を表したいと思います。

今後の支部活動の取り組みは、以下を強化していきたいと考えます。

まず「技術・技能の継承」への対応です。少子高齢化が進む中、次代を担う溶接技術者・技能者の確保・育成は大きな課題です。支部としては、参加者が減少している2部の溶接技術コンクールの運営を、JIS検定を兼ねた運営に見直し効果を上げつつありますが、更に幅広い分野から参加をいただけるよう運営を工夫し、活性化に繋げていきたいと思っています。

二点目は「技術情報・サービスの向上」です。支部は講習会や見学会を実施しておりますが、溶接を取りまく環境が変化するなか、これらの活動については会員のニーズを収集し、より効果的にものにしていきたいと思っています。

今後とも皆様の一層のご支援をお願いいたします。



(社)日本溶接協会神奈川県支部 創立50周年記念式典・講演会・祝賀会

期日 平成19年9月15日(土) 会場 パシフィコ横浜

社団法人日本溶接協会神奈川県支部 創立50周年記念式典・講演会



実行に関わった役員と事務局全員

1. 記念式典

- ①開会の辞
- ②支部長挨拶
- ③来賓祝辞
- ④神奈川県知事感謝状贈呈
- ⑤(社)日本溶接協会会長表彰
- ⑥(社)日本溶接協会神奈川県支部長表彰
- ⑦閉会の辞



受付の風景



開会あいさつをする小田副支部長



主催者あいさつをする村上支部長



来賓あいさつをする羽田神奈川県副知事



来賓あいさつをする宮田溶接協会会長



式典の閉会あいさつをする北野副支部長



「記念講演」寺島実郎

2. 記念講演

『世界潮流と日本経済の行方・日本の進路』寺島実郎

最近テレビでよく見かける寺島さんの講演は『世界潮流と日本経済の行方・日本の進路』と題して21世紀に入って6年間の世界の流れを中心に講演された。

米国を中心に動いてきた世界経済が中国を中心にしたアジア圏とエネルギー資源をバックにしたロシアの復権、拡大化する欧州など、そして中国を中心に人の往来や輸出入が米国を抜いてしまったことなどから貿易構造の大いなる変化に対応して今後日本の進路はやはり中国とそれに続くインド等アジアとの関係を大切にしていかなければいけないと語られたように思われた講演でした。

3. 祝賀会

- ①開会挨拶 ②鏡割り ③乾杯 ④来賓挨拶
⑤物まね漫談 ⑥抽選会 ⑦中締め



来賓あいさつをする馬場産報出版株式会社



祝賀会開会あいさつをする土田副支部長



記念写真におさまりました



祝賀会 鏡割り



祝賀会のBGM ヴァイオリンとチェロのアンサンブル



中締めをする田中理事



乾杯の音頭をとる
入江日本溶接技術センター会長



ありがとうございました、さようなら

平成19年度 神奈川県溶接技術コンクール開催される

神奈川県及び(社)日本溶接協会神奈川県支部共催による、平成19年度(第50回)神奈川県溶接技術コンクールは、第一部(手溶接・半自動溶接)は平成19年6月15日(金)、第2部は6月8日(金)(財)日本溶接技術センターに於いて開催されました。

参加者は51名(手溶接第1部10名)・(半自動溶接第1部24名)・(手溶接第2部6名)・(半自動溶接第2部11名)と、前年を少し上回りました。

第1部競技課題は、全国溶接技術競技会と同一の課題となっていますので成績上位者(1位2位)は全国溶接技術競技会に神奈川県代表として推薦されます。ただし、第2部の参加者は全国溶接技術競技会の代表にはなれませんが同時にJIS溶接技能評価試験が受けられるようになっています。

表彰式は9月6日(木)(財)日本溶接技術センターに於いて開催されました。主催者を代表して神奈川県商工労働部 石塚恒夫工業振興課長、(社)日本溶接協会神奈川県支部村上秀夫支部長初め、入賞選手・会社代表・来賓・協会役員・選手付き添い等約60名の参加を得て行われました。

表彰式に於いて主催者からの挨拶は代表に選ばれた4選手に対する全国大会優勝という期待と激励にあふれていた表彰式でありました。尚、今年の全国溶接技術競技会は群馬県前橋市に於いて開催されます。



主催者挨拶をされる石塚工業振興課長



表彰を受けられた皆さん

各部の優勝者

神奈川県知事賞 団体賞・個人賞

手溶接第一部 優勝 相澤 清志
団体賞 (株)IHI横浜第1工場

炭酸ガス半自動溶接第一部 優勝 清水 茂寿
団体賞 (株)東芝京浜事業所
炭酸ガス半自動溶接第二部 優勝 田中 由雄
団体賞 関島工業(株)

上記の入賞者には神奈川県知事賞の他に(社)日本溶接協会神奈川県支部長賞(優秀賞)、東部地区溶接技術検定委員長賞、(株)産報賞がそれぞれ贈られました。手溶接第二部 優勝 須藤 元 堀精工(株)は神奈川県知事賞は該当しませんでした。が、(社)日本溶接協会神奈川県支部長賞(優良賞)・(株)産報賞が贈られました。

入賞者及び参加者一覧(成績順)

手溶接第一部		
相澤 清志 (株)IHI横浜第一工場	三島 義徳 富士電機システムズ(株)	丸山 裕里 神鋼溶接サービス(株)
名和 剛 (株)IHI横浜第一工場	犬塚 靖之 三菱重工業(株)横浜製作所金沢工場	以上入賞
井上 大樹 富士電機システムズ(株)	渡辺 達也 (株)東芝京浜事業所	高橋 陽一 三菱重工業(株)横浜製作所金沢工場
和田 大輔 神鋼溶接サービス(株)	安田 理 (株)IHI横浜第二工場	
炭酸ガス半自動溶接第一部		
清水 茂寿 (株)東芝京浜事業所	齋藤 也 住友重機械マリンエンジニアリング(株)	西岡 憲司 (株)IHI横浜第一工場
地村健太郎 (株)神戸製鋼所	高柳 健一 東急車輛製造(株)	福田 康元 住友重機械マリンエンジニアリング(株)
太田 勝 (株)東芝京浜事業所	以上入賞	中川 清治 神鋼溶接サービス(株)
渋谷 信貴 (株)IHI横浜第一工場	鈴木 学明 東急車輛製造(株)	原彰 一郎 (株)神戸製鋼所
瀧本 忍 東急車輛製造(株)	齊江 靖人 (株)東芝浜川崎工場	杉本 隆 JFEエンジニアリング(株)
夏井 明夫 荏原玲熱システム(株)	皆川 勝巳 神鋼溶接サービス(株)	牧田 良孝 アイダエンジニアリング(株)
高橋 和雄 荏原玲熱システム(株)	山本 潤 荏原玲熱システム(株)	加藤 浩士 (株)東芝浜川崎工場
大沼 学 住友重機械マリンエンジニアリング(株)	栗原 誠 荏原玲熱システム(株)	中瀬古祐太 JFEエンジニアリング(株)
白井 淳一 アイダエンジニアリング(株)		
手溶接第二部		
須藤 元 堀精工(株)	以上入賞	大平 保則 平田バルブ工業(株)
座間 洋行 むつみ工業	山本 広幸 (株)安田製作所	斉藤 由樹 堀精工(株)
渋谷 英生 堀精工(株)		
半自動溶接第二部		
田中 由雄 関島工業(株)	藤田 周一 (株)藤田鉄工	以上入賞
両角 重和 (株)横浜製作所	宮田 陽史 関島工業(株)	森野 昭二 (株)日本溶研
川本 誠 (株)日本溶研	横田増次郎 (株)安田製作所	中野 慶二 (株)日本溶研
近藤 信彦 (株)藤田鉄工	大島千世志 (株)横浜製作所	高橋 一成 (株)日本溶研

平成19年度(第53回)全国溶接技術競技会 群馬県前橋市で開催

平成19年度(第53回)全国溶接技術競技会は(社)日本溶接協会・(社)日本溶接協会東部地区支部及び群馬県支部主催で下記の日程と会場で開催されます。神奈川県からは平成19年度神奈川県溶接コンクールで手溶接及び半自動溶接第一部で各々1位・2位になられた下記の4名が代表として参加します。

開会式・選手懇親会 平成19年10月26日(土) 前橋テルサ
競技会 平成19年10月27日(日) 群馬産業技術センター

神奈川県代表選手

手溶接の部

相澤清志 (株)IHI横浜第一工場
三島義徳 富士電機システムズ(株)

半自動溶接の部

清水茂寿 (株)東芝京浜事業所
齋藤也 住友重機械マリンエンジニアリング(株)



左から齋藤さん/清水茂寿さん/相澤清志さん/三島さん

平成18年度全国溶接技術競技会で優勝した柳内信吾さん県庁表敬訪問

平成18年度(第52回)全国溶接技術競技会で手溶接の部で優勝した(株)IHI横浜第一工場の柳内信吾さんと会社関係者及び(社)日本溶接協会神奈川県支部の村上支部長が7月26日に優勝旗を掲げ松沢成文神奈川県知事を訪問し優勝報告を行いました。

短い時間ではありましたが松沢知事は熱心に質問や励ましの言葉を掛け、また来年度も優勝し県庁訪問をされるよう期待された。



松沢知事と柳内さん



松沢知事を囲んで柳内さんと村上支部長IHI株関係者

平成19・20年度役員改選のお知らせ

5月の評議員会・通常総会において役員が下記のとおり承認されましたのでお知らせいたします。(社)日本溶接協会神奈川県支部平成19・20年度役員名簿(順不同/敬称略)

平成19・20年(社)日本溶接協会神奈川県支部役員名簿			
役職	氏名	所属	備考
支部長	村上 秀夫	富士電機システムズ(株)	新任
副支部長	土田 栄二	三菱重工業(株)横浜製作所	留任
副支部長	北野 嘉男	東急車輛製造(株)	留任
副支部長	小田 隆徳	JFEエンジニアリング(株)	留任
理事	入江 宏定	(財)日本溶接技術センター	留任
理事	谷屋 利隆	(社)神奈川県高圧ガス流通保安協会	留任
理事	岸部 直喜	神奈川県鉄構業共同組合	留任
理事	本多 求	アイダエンジニアリング(株)	留任
理事	平野 賢二	石川島播磨重工業(株)横浜第1工場	留任
理事	石川 昌巳	JFE工建(株)	留任
理事	志賀 啓介	新興プランテック(株)	再任
理事	山下 泰生	住友重機械マリンエンジニアリング(株)	留任
理事	磯田 和之	関島工業(株)	留任
理事	石橋金之助	(株)荏原製作所	再任
理事	加藤 明男	(株)大倉製作所	留任
理事	西山 繁樹	(株)神戸製鋼所溶接カンパニー	留任
理事	石塚 俊男	(株)福島鉄工所	再任
理事	小松 亮一	日揮工事(株)	留任
理事	堀切 幸夫	東芝プラントシステム(株)	新任
監事	田中 清貴	(株)東芝京浜事業所	新任
監事	原田 順雄	日立ピアエンジニアリング(株)	新任
相談役	隈部 日出夫		留任
相談役	相原 正公	新興プランテック(株)	新任

適格性証明書の登録事項変更に伴う無料サービス業務の有料化について

1. サーベイランス申請と同時に記載事項の変更をする場合

- ① 適格性証明書に記載された氏名、生年月日、自宅住所、勤務先名の変更は記載事項変更手数料1,050円がかかります。
従ってサーベイランス料金1,260円+記載事項変更手数料1,050円の計2,310円となります。
- ② サーベイランス時に、紛失、破損による再発行申請が伴う場合は記載事項変更手数料は不要です。
従って、サーベイランス料金 1,260円+再発行手数料3,150円の計4,410円となります。
- ③ サーベイランス時以外の時期に記載事項変更と再発行を行う場合は再発行手数料3,150円となります。
- ④ 勤務先住所の変更及び通知先変更は、手数料は無料です。
尚、従来サーベイランス連絡葉書に赤ペンなどで書いた変更は出来なくなりました。

2. 成績開示証明書(不合格などの理由について) 問い合わせる場合

個人情報のプライバシー保護が厳しくなります。
手続きは、所定の用紙に記入して本人が直接東部地区溶接技術検定委員会に手数料1,050円を添えて郵送または持参してください。後日手紙でお知らせするようになっていきます。
成績開示を受ける方は上記の検定委員会(044-299-3541)へ申し込んで下さい。

◎ 試験申込書に添付する写真について

写真は、試験申込書の写真貼り付け欄に黒い影で顔の大きさが描いてあります。その大きさの顔写真を貼り付けてください。最近6ヶ月以内に撮影したものです。写真が小さい場合は受付できませんので注意してください。
また、写真が添付されていない場合も受付できませんので必ず添付してください。

(写真全面貼付)

最近6ヶ月以内に脱帽で上半身を撮影したものを。

写真のサイズ

縦4.5cm×横3.5cm

パスポート用

証明書の写真になるので、上記サイズを厳守すること。なお写真貼付に際しては、必ず右肩を用紙に合わせて枠内に貼ること。

◎ 角変形について

平成16年4月1日以降の評価試験から5度を超える角変形は不合格になりましたので受験者ご注意ください。

更新試験(再評価試験)について

- ① 更新試験の受験期間が次のようになっています。
更新試験の受験期間は技術資格の有効期限が切れる8ヶ月前から2ヶ月前までに試験を受けなければなりません。
- ② 更新試験に合格した場合は資格の登録日が現在資格の有効期限に合わせて登録されるようになっています。
- ③ 上記期間外に受験する場合は有効期限内であっても、新規試験(学科試験免除)で基本級も受験しなければなりませんのでご注意ください。
- ④ 更新試験と同時に新規種目も受験出来ますが、この場合は新規試験(学科試験免除)扱いとなり左記②の扱いは受けられません。
- ⑤ ②の扱いを受けようとする場合は新規試験及び更新試験それぞれ試験申込書を別にしてください。
- ⑤ 登録年月日と有効期限が同じで証明書番号が異なる別々の資格を一枚の試験申込書で申し込んで受験する場合は現在のところ更新試験の扱いにはなりません。新規受験になってしまいますのでご注意ください。更新試験の扱いを受ける場合は、申込書を別々にして下さい。
- ⑥ 試験結果の発表は、毎月の15日以前の試験は翌月末の発表です。16日以降の試験は翌々月末の発表です。

サーベイランス(継続試験)と更新試験(再評価試験)

溶接適格性証明書には登録年月日(発行年月日)と有効期限が記載されています。サーベイランスとは書類のみの手続きで試験はありません。有効期限の3ヶ月前から期限の日までに手続きをしてください。必ず有効期限の3ヶ月前に通知を出しています。最初(1回目)のサーベイランスをしないと2回目のサーベイランスの通知は行きません。サーベイランスは2回です。

サーベイランスを2回されると、次は更新試験(再評価試験)になります。実技試験を受け直して合格されると新しく証明書が発行されます。但し、1回目のサーベイランス又は2回目のサーベイランスをされませんと更新試験の案内も行きませんのでご注意ください。